

文化の風が吹くまち ちくしの

文化薫道

◆其の六十一 市内に残る小地名

地名の中には、農村部で使われてきた「ホノケ」という非公式な小地名があります。これに対し、公式な地名として江戸時代の村名を継承した大字とより狭い地域を示す小字があります。ホノケは小字よりもさらに特定の範囲を指します。

明治維新後のさまざまな制度によって小字は統合して名称が変わることもありましたが、ホノケについては字ではないため影響を受けず、古くからの地名がそのまま残っているといえます。その後、ホノケは土地の表記方法が変わり大半が失われましたが、筑紫野市でもわずかに伝えられています。

その一つとして大字吉木字唐木にある「カワゴデン」が挙げられます。ここでは古代の施設である蘆城駅家(あしきのうまや)と考えられる遺跡が見つかっています。

駅家では使者のための馬が準備されていました。蘆城駅家の具体的な位置は記録に



ホノケ「カワゴデン」が残る地(背景に阿志岐山城跡)

ありませんが、カワゴデンを「カワゴ・デン」と考えると、『今昔物語集』に「かわご馬が出てくることから、馬の飼育の財源にあてがわれる田、もしくは馬を備える施設(厩)と解釈することもできます。

より小さなホノケだからこそ、土地における歴史の記憶が後世まで残り、色濃く受け継がれたのかもしれない。

問い合わせ先／文化財課



広報 ちくしの

Chikushino No.1173
2021年1月15日号

発行／筑紫野市 編集／秘書広報課 ホームページ／<https://www.city.chikushino.fukuoka.jp/>
〒818-8686 福岡県筑紫野市石崎一丁目1番1号 ☎092(923)1111 FAX092(923)5391

印刷／久野印刷株式会社
発行部数／42,600部



筑紫野市フェイスブック
<https://www.facebook.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市ツイッター
<https://twitter.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市LINE公式アカウント
<https://lin.ee/6X9wMoy>